

関西労災病院クリニカルラダー（臨床看護実践レベル）

| | ラダー 新人 マニュアルに沿って安全・確 実な看護ができる | ラダー 一人前 担当看護師として自立し ている | ラダー 中堅 チームリーダーとして自 立している | ラダー 達人 チームリーダーとして後輩の指 導ができる | |
|-------------|--|--|--|--|---|
| 看護実践 能力 | ① 指導を受けながら、看護 過程が実践できる 看護手順に基づき立案し た看護が実践でき、記録で きる 急変時(緊急時)は指示を受 けて行動できる | 個別性をふまえた看護 過程が実践できる 担当看護師としての責 任を果たすことができる 緊急時に対応できる | 予測をふまえた看護判 断ができ、長期的展望に たった看護実践ができ る 緊急時を予測した対応 がとれると共に、緊急時 には臨機応変に対応す ることができる | 看護を行う上で問題とな る領域に焦点を絞り、患 者・家族が満足するケア ができる 看護師として役割モデル がとれ専門性が発揮でき る 緊急時、リーダーシップ を発揮し、他の職種とと もに協働して対応するこ とができる | |
| 管理 | 組織 役割 業務 遂行 | ① 自ら指導・助言を求め、 チームメンバーとし て役割と責任を果たすこ とができる ② セクションの特殊性を 理解し目標達成する ための活動に参加できる | セクションやチームの 目標達成に向けて役割 と責任が果たせる 状況に応じたリーダー シップがとれる | チームリーダーの役割 と責任をはたすことが できる セクションの目標達成 に向けて、主体的なリー ダーシップが発揮でき る | 業務改善推進に向けてリー ダーシップがとれる セクションの目標達成の ために、活動を推進する 事ができる |
| | タイム・コ スト マネジ メント | 一日の業務計画を立てる ことができる 優先度を考え、時間内に実 施できるよう調整 できる 看護業務を行う上で、コス ト意識をもって物品の取 扱いができる | 一日の業務の効率性を 考え計画できる 患者をとおして、看護の 経済性(ムリ・ムダ・ム ラ等)を考えることがで きる | 看護業務における経済 的・効果的側面から意見 を述べる事ができる | 看護業務における経済 的・効果的側面から意見 を述べ、改善の推進者と なることができる |
| | リカ マネジ メント | 医療事故防止・院内感染防 止マニュアルに沿って指 導を受けながら行動でき る 療養環境の安全性・快適性 について配慮できる 災害発生時(地震・火災・ 停電)に指示に従い対応で きる | 医療事故防止、院内感染 防止のための観察がで き、その対策が実践でき る 災害発生時(火災・地 震・停電)指示を受けな がら対応ができる | 医療事故防止、院内感染 防止のために環境整備 や物品管理ができる セクションでリスクマ ネージメントが推進でき る 災害時(火災・地震・停 電)の対応がで きる | 医療事故防止、院内感染 防止のために啓蒙活動が できる 院外の災害発生時、医療 チームの中で状況に応じ た役割がとれる |
| | 対人 関係 能力 | 組織人としての接遇を身 につけられる 自分の思いや考えを他者 に伝えられ、また他者の考 えや意見をよく聞き尊重 することができる 困っていること、悩みにつ いて同僚やプリセプター に相談できる 報告・相談・連絡ができる | 相手の立場や役割を理 解し、アサーティブな関 わりができる 自己のストレスに向き 合い、コントロールする ことができる | 相手を尊重し、自分の考 えを話す事ができる(ア サーティブなコミュニ ケーションがとれる) 自己の感情がコントロ ールでき、相互理解を深 める事ができる | セクションにおける総合 的なリーダーとして、メ ンバーの立場や人間性を 尊重し、人間関係が調整 できる 他の医療チームとの信頼 関係を保ち、協働・調整 ができる |
| 教育・研究 能力 | 自己の看護を振り返り、で きること、できないことを 明確にして不足部分を学 習できる 院内教育プログラム及び セクションの学習会に参 加できる 日常の看護実践において 看護とは何かを考えるこ とができる 日常の看護の中で疑問や 問題意識を持つことが できる | 学習課題を明確にし、院 内教育プログラム(研修 会など)に積極的に参加 できる 看護実践を通して、自己 の看護観を表現できる 担当患者のことについ て、後輩・看護学生の指 導ができる | 院内外の教育プログラ ムに、積極的に参加し、 その内容をセクション 内に伝達することがで きる 看護研究を通して自己 の看護実践を深めるこ とができる スタッフや看護学生に 対して、指導的に関わる ことができ、役割モデル になれる | 院内・院外の教育プログラ ムに積極的に参加し、 部署内で活用することが できる 自己の研究テーマに取り 組むことができる 臨床指導者・臨床講師の 役割を果たすことができ る | |
| 看護倫理 | 看護における倫理原則(倫 理・責務)が理解できる 看護実践の中の倫理的問 題に気づくことができる | 看護実践の中で、倫理的 問題の背景・価値の対立 に気づくことができる 助言を受けながら、イン フォームドコンセント における看護師の役割 が果たせる | 実践における倫理的な 諸問題に気づき、他者と 意見交換をして問題解 決につなげることが できる インフォームドコンセ ントにおける看護師の 役割を果たすことが できる | 対象の生命観・死生観・ 倫理観を尊重し、アドボ ケイターとしての役割を 果たすことができる | |